

「地域振興の取組方針」の見直しについて

1 趣旨

(1) 「かごしま未来創造ビジョン」の改訂

- ・ 県では、平成30年3月に、鹿児島を目指す姿や施策展開の基本方向などを明らかにする「かごしま未来創造ビジョン」を策定
- ・ その後、新型コロナウイルス感染症拡大、デジタル化の進展、SDGsの進展など、昨今の社会情勢が大きく変化してきており、これらへの対応が重要となったことから、令和4年3月に改訂

(2) 「地域振興の取組方針」の見直し

- ・ 現行方針は、「かごしま未来創造ビジョン」を補完するものとして平成31年3月に策定
- ・ 今回、当該ビジョンの改訂を受けて、今年度中に「地域振興の取組方針」について見直しを行う必要
- ・ 見直しに当たっては、地域の有識者、各地域で活躍されている方々と意見交換を行い、地域の皆様のご意見を十分に伺いながら策定

2 「始良・伊佐地域振興の取組方針」に係る地域懇談会について

(1) 内容

本地域の目指す姿や必要な取組等、取組方針の見直し案について意見聴取

(2) 開催

2回開催予定（第1回：7/22（金）、10月中旬）

(3) 構成

「稼ぐ力の向上（農林水産業・観光・企業）」や「医療・保健・福祉」、「移住・交流の促進」、「教育・文化」などの分野の有識者や活躍されている方、15人以内で構成

3 その他

地域行政懇話会ほか既存会議の場においても幅広く意見聴取

「地域振興の取組方針」の見直し方針(案)

「かごしま未来創造ビジョン」改訂版 (令和4年3月改訂)

○ 位置づけ

概ね10年という中長期的な観点から、鹿児島
の目指すべき姿や施策展開の基本方向等を示
すものであり、県政全般にわたって最も基本と
なるもの

第1章 改訂の趣旨

昨今の社会経済情勢が大きく変化してきており、見直しを行うもの

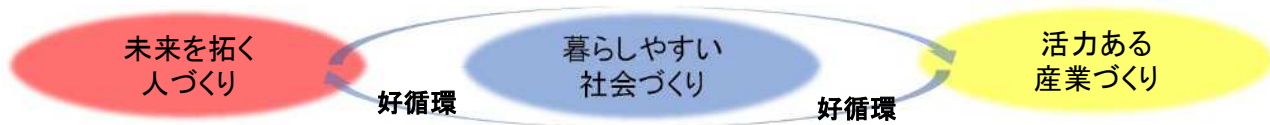
第2章 時代の潮流と鹿児島島の現状・課題

新型コロナウイルス感染症拡大
デジタル化の進展 SDGsの推進
カーボンニュートラルの実現
ジェンダー平等 働き方の多様化
外国人材の活用 など

第3章 鹿児島島の目指す姿

「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島島(〇〇地域)」

【例】



第4章 施策展開の基本方向

- 誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現
- 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現
- 健康で長生きできる社会の実現と良質な医療・介護の確保
- 地域を愛し世界に通用する人材の育成、
文化・スポーツの振興
- 脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生
- 安心・安全な県民生活の実現
- 快適な生活環境の向上と世界につながる県土の創造
- 個性を生かした地域づくりと移住・交流の促進
- 多様で魅力ある奄美・離島の振興
- 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- 観光の「稼ぐ力」の向上
- 企業の「稼ぐ力」の向上
- 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出
- デジタルテクノロジーを活用した県民の暮らしの質の向上
- 持続可能な行財政運営

第5章 ビジョン実現のために

- 県民が主役
- 多様な主体との連携・協働
- 市町村との連携
- 県域(地域)を越えた広域連携
- 具体的な施策・事業等の推進
- SDGsの推進

【例】

「地域振興の取組方針」改訂版 (令和4年度改訂予定)

○ 位置づけ

ビジョンを補完し、ビジョンに沿って、それぞれの地域における特有の課題や施策展開の基
本方向などを示すもの

第1章 改訂の趣旨

第2章 時代の潮流と〇〇地域の現状・課題

各地域の実情に応じた「時代の潮流」と
「現状・課題」を記載

第3章 〇〇地域の目指す姿

第4章 〇〇地域振興の取組方針

○ 各地域において、特に力を入れる事項に
ついて記載

【例】

- (例)
- 「稼ぐ力」の向上
 - 脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生
 - デジタルテクノロジーを活用した
住民の暮らしの質の向上
 - 奄美・離島の振興
 - 移住・交流の促進
 - 誰もが安心して暮らすことができる社会づくり

※ このほか、各地域の現状・課題に応じて記載

第5章 取組方針実現のために

県民意見の反映

各地域の課題を十分に踏まえた上で策定するため、
地域の有識者・県議や各分野で活躍する県民、市町村等の意見を聞きながら策定